



# オクノン 倶楽部



## 謹賀新年

1996年 初春号

大阪・道修町、その街中のビル谷間に大きな楠の木があり、そこにひっそりと鎮り坐す社がある。

俗に「神農さん」と称され、薬と健康を司ごる神様として崇敬されている少彦名神社である。この神社は道修町の薬種中買仲間が薬種の真偽鑑別、流通を常に正しく行うために安永九年（一七八〇）少彦名命と神農氏を会所に祀つたのが鎮坐起源である。爾来、道修町の薬業関係者はもとより、広く世間一般に御祭神の御神徳を授かり、感謝と崇敬のまことを捧げてきたのである。祭礼は毎年十一月二十二日、二十三日の両日大阪年中行事の一つとして「神農祭」と称して盛大に斎行されている。この祭礼にかかせないのが健康祈願の

### 祭祖 神農神



の古典からみると出雲国に「奇りくる神」であり常世国に「渡りましき神」であつて、その御名、

「張子の虎」の御守りであり政五五年に大坂疫病が流行し、道修町の薬種商が「虎頭殺染毒黄丹」と云う薬をつくり合わせて「張子の虎」の御守りも調整して神前に供えて祈願をし、世に出したところご神徳を得たのでそれ以来張子の虎が当神社独自の御守として今に続いている。また大阪市中のまはりは正月の戌まつりで始まり神農祭で一年が終るため「とめ祭り」とも称されている。

少彦名命は記紀その他

## 神農さん 別所俊顕

「すくな」はまた「小」であり、「ちいさな神」「稲」の意味にも通じて稲人神（客人神）、渡来神で「此岸の国」に知恵と幸を与えてくれる神である。その御神徳は医薬、治療、温泉、造酒、国造り（農耕）等があり、人国主神の幸魂、奇魂を表現されている。そしてこの「小さく知恵と力の優れた」神の伝承は後世の「竹取物語」や「一寸法師」の古典に多くの影響を与えていった。

神農氏は「十八史略」に炎帝神農氏姜姓ナリ。

信得されてきた、神農の名を冠した中国医書の伝来も人々に神農の名を知る機縁を与えた。我国でも古来より医師や薬業に従事する人々は神農像や神農像を飾り、日を定めて祭りを行った。その日は冬至の日を祭礼日とした。当社でも現在十二月の冬至に冬至祭を斎行し、大祭の次に重要な祭として位置付けられている。

漢書の「経方十家」の中に「神農黄帝食禁」七巻があり、「医食同源」の根本がここにあるように

人身牛首ナリ。風性ヲ離イデ立ツ。火徳ノ王ナリ。木ヲ斲ツテ和ヲツクリ、木ヲ鋸ツテ末ヲツクリ、始メテ神ヲ教ヘ、昔祭ヲ作ス。猪鬃ヲ以ツテ草木ヲ糲チ、百草ヲ革首メテヲ糲チ。百草ヲ革首メテ始メテ医薬アリ、人ニ教エテ日中ニ市ヲナシ、交易シテ退ク。いと著るされていように古来より中国では超能力を秘め、薬治の神、農耕の神、交易商業の神であり、特に山野を巡り百薬を嘗めて薬草をさがし、処方を探めたので医薬の神として

うに思われるのでその一部をみると「経方ト本草ノ寒温ニ本ツキ、疾病ノ浅深ヲ賦リ、薬味ノ滋ヲ假リ、気感ノ宜ニ因リ、五苦六辛ヲ并シ、水火ノ劑ヲ致シ、以テ閉ヲ通ジ始メテ解キ、コレヲ平ニ反ス」とあり処方述べている。ここで神農や神農祭に関する文藝を一部紹介して結びとしたい。

古川橋 神農の寝言は舌の音ばかり

川柳 御常連神農さんの虎と来る 木村草々 道修町境内となる神農祭 比良丹荒助

俳句 神農祭壇らかなる灯をかきたてぬ 蛇笏 かくはしき神農祭の下字風呂 雨丁

狂歌 張りぬきの虎など吊るし 葦草の匂ひしめれる 大阪の家 芋野糺子

本草をのぞきて見れば 神農のこれもねぶらし 椿水山



### 別所俊顕

#### プロフィール

昭和17年4月12日生  
平成1年4月  
少彦名神社宮司

就職  
ボーイスカウト  
大阪連盟理事

道修町文書保存会理事  
心理学明誠舎理事長

「日トレック」の目的は、日本料理の魅力を海外に伝えることにある。そのために、日本料理の歴史や文化、そして最新のトレンドについて、詳しく紹介していく。また、日本料理の魅力を伝えるだけでなく、海外の料理文化についても紹介していく。これにより、海外の料理文化に対する理解を深め、日本料理の魅力を伝えることに貢献する。

## 久壹庵の茶と薬膳料理

「日トレック」の目的は、日本料理の魅力を海外に伝えることにある。そのために、日本料理の歴史や文化、そして最新のトレンドについて、詳しく紹介していく。また、日本料理の魅力を伝えるだけでなく、海外の料理文化についても紹介していく。これにより、海外の料理文化に対する理解を深め、日本料理の魅力を伝えることに貢献する。

**Divina Japonais**  
Menu

お正月フランス料理  
MENU

Appetizer: Oyster Cocktail  
Entrée: Beef Tenderloin  
Dessert: Chocolate Soufflé

料金 ¥12,000  
1月1日 - 1月31日

### 「神農本草経」の三篇

「神農本草経」は、中国の薬学書で、神農が採集した薬材の性質や効用を記述している。その中でも、三篇は特に重要な部分とされている。これらは、後世の薬学発展に大きな影響を与えた。

### 冬虫夏草(とうちゅうかそう)

冬虫夏草は、冬に生じた菌類が、夏になると虫の殻から出てくる。その独特な形状と効用から、古くから珍重されてきた。現代では、滋養強壮や免疫力向上に効果的とされている。

### 久保道徳

久保道徳は、日本の思想家で、社会主義や労働運動に関与した。その著作や活動は、現代の社会運動に大きな影響を与えている。

「神農本草経」の三篇は、中国の薬学書で、神農が採集した薬材の性質や効用を記述している。その中でも、三篇は特に重要な部分とされている。これらは、後世の薬学発展に大きな影響を与えた。

## 康寿 『帝王の迎春お献立』

康寿の『帝王の迎春お献立』は、豪華な新年会メニューを紹介している。その中には、帝王の御膳を再現した料理も含まれている。興味のある方は、ぜひ読んでいただきたい。

康寿の『帝王の迎春お献立』は、豪華な新年会メニューを紹介している。その中には、帝王の御膳を再現した料理も含まれている。興味のある方は、ぜひ読んでいただきたい。

